国際化学肥料ニュース（2011 年 2 月）

肥料業界の 2011 年 2 月動態

＊　国際肥料工業協会（IFA）は 2010～2011 年度の化学肥料需給予測を発表した。その内容は下記の通りである。

2010 年後半から農作物価格の高騰を受け、肥料に対する需要が高まり、2010～2011 年度の肥料需要量が前年度より 4.7%増え、1.714 億トンに達する見通しである。その内訳は、窒素肥料が 1.042 億トン（1.6%増）、りん酸肥料が 3980 万トン（6%増）、加里肥料が 2740 万トン（16.3%増）。各地域の純増加量は、東アジアが 310 万トン増、北米が 150 万トン増、ラテンアメリカが 130 万トン増、南アジアが 120 万トン増と予測する。

同時に、IFA は 2010 年と 2011 年の窒素肥料生産量の予測も発表した。2010 年アンモニア生産量は 1.588 億トン（前年比 4%増、以下同）、2011 年は 1.64 億トン（3%強増）に達する。2010 年尿素生産量は 1.49 億トン（1%増）、輸出量が 3850 万トン（6%増）、特にラテンアメリカ、北米とオセアニアの尿素輸入が大幅に増えた。2010～2011 年度に世界中計 25 の尿素新工場が完成することにより、尿素生産能力が 2010 年に 1.81 億トン、2011 年に 1.9 億トンに達する。それに伴い、2011 年尿素生産量は 1.6 億トンに達し、潜在的過剰量が 880 万トン、輸出量が 2010 年より 300 万トン増えるだろう。

りん酸肥料については、2010 年リン鉱石採掘量が 1.778 億トン（9.6%増）、輸出量が 3000 万トン。2010 年世界りん酸（P2O5 計）生産量が 3700 万トン（前年より 340 万トン増）、輸出量が 480 万トン（9%増）。2010 年に新規りん酸工場の竣工がなかったが、2011 年にブラジル、中国、サウジアラビア、チュニジアに新しいりん酸生産設備が生産開始の予定、りん酸生産量が 5100 万トンに達する。但し、りん安等のりん酸肥料需要が旺盛で、2010 年に MAP、DAP、TSP 等の生産量が 3570 万トン（純 P2O5 計）、2011 年に 3880 万トンに達するが、原料りん酸供給の緊張状態が続くと予測している。

加里肥料については、2010 年塩化加里生産量が 5020 万トン（K2O 換算では 3110 万トン、前年度より 58%増）、販売量 5200 万トン（80%増）。生産能力が 7250 万トンであるが、稼働率が 73%（前年度 48%）。2011 年の生産能力が 7400 万トン、生産量が 6500 万トンと予測するが、ブラジル、中国、インド、東南アジアの需要が旺盛で、加里肥料の過剰量が 2009 年の 1170 万トン K2O から 2011 年の 640 万トン K2O に減少する。

＊　アメリカは世界穀物価格の高騰で、農家の肥料使用量が急増したことを受け、2010 年 12 月に 92.1 万トンの尿素を輸入し（中東から 58.8 万トン）、昨年同時期（43 万トン）より 2 倍増えた。なお、7～12 月の尿素輸入量が 315 万トン（昨年同期 217 万トン）

であった。

＊　ブラジルヴァーレ社の国際販売マネージャ Edison Souki 氏はヴァーレ社がブラジルの旺盛な化学肥料需要を満たすため、2015 年までに 120 億ドルを投資し、肥料工場 2 ヶ所以上を建設すると述べた。ヴァーレ社は 2010 年に 38 億ドルで Bunge 社の化学肥料事業を買収した。また、ブラジル鉱業省の Claudio Scliar 氏はブラジルが 2013 年に窒素肥料の自給を実現すると共に、りん酸肥料輸入量の 20～50%削減に努力すべきと述べた。

＊　ベトナム紙 2 月 28 日報道によれば、現在ベトナム尿素の年間需要量が 170～200 万トン、国内生産企業は富美窒素肥料工場と河北窒素肥料工場の 2 ヶ所で、年間生産量が 100～110 万トン、輸入量が 70～90 万トン。窒素肥料を自給するため、現在 3 ヶ所の尿素工場が建設中、1 ヶ所計画中である。建設中の尿素工場は、寧平窒素肥料工場（生産能力 56 万トン尿素/年、2011 年 11 月竣工）、金欧窒素肥料工場（生産能力 80 万トン尿素/年、2012 年竣工）、河北窒素肥料工場増設（生産能力 18 万トン→50 万トン尿素/年、2012 年竣工）。計画中は公清窒素肥料工場（生産能力 56 万トン尿素/年）。2012 年、寧平窒素肥料工場と金欧窒素肥料工場が生産開始に伴い、ベトナムの尿素生産能力が 230 万トンになり、国内需要を完全に賄い、輸出も計画している。

＊　2 月 13 日、イスラエルの ICL 社が中国と 2011 年上半期の加里肥料輸入契約を締結したと発表した。60%結晶塩化加里の CIF 価格は 402 ドル/トン、昨年より 50 ドル/トン値上げ。契約数量が 50 万トン。

＊　カナダ Potash Corp は 2010 年第 4 半期の加里肥料需要旺盛と悪劣天気の影響で、今年 1 月末に北米塩化加里の在庫量が 190 万トン、2010 年 12 月末より 8.5 万トン減少したと発表した。それに伴い、各社が 2 月から塩化加里の値上げ（40 ドル/トン）を発表した

大手各社の営業業績

＊　カナダの Agrium 社は 2010 年第 4 半期の売上は 23.5 億ドル（昨年同期より 63%増）、純利益 1.58 億ドル。
＊　カナダの Potash Corp 社は 2010 年純利益が 18 億ドル（2009 年 9.8 億ドル）。
＊　アメリカ CF 社は 2010 年第 4 四半期売上が 12.4 億ドル、純利益が 2 億ドル。

2 月の大口契約と輸出：

＊　中国がりん安の輸出関税を引上げた結果、代わりに TSP の輸出が盛んになった。Key

Trading 社は 2.5 万トン TSP をアルゼンチンに、Transammonia 社は 2.5 万トン TSP をブラジルに輸出した。また、1 万トンをメキシコの Sonora、2 万トンをアメリカのカリフォルニアに輸出する予定。バングラデシュも中国雲天化グループから 15～16 万トン TSP を購入し、2～6 月に輸入する予定。TSP の大量輸出により、2011 年 1～3 月中国国内も TSP が供給不足のようである。

＊ スリランカは 2 月 11 日に化学肥料の入札を行った。入札内訳は、4.8 万トン尿素、2.4 万トン塩化加里、1.2 万トン TSP。5～6 月の船で輸入予定。応札者が不明。

＊ パキスタン Engro 社はモロッコから 3.5 万トン DAP を購入、3 月の船。

＊ OCP はブラジルに CFR623～625 ドル/トンで 2.5～3 万トン DAP を輸出。

＊ Phoschem 社はメキシコに FOB610 ドル/トンで 6000 トン DAP を輸出、Trammo 社も FOB612 ドル/トンで 6000 トン、Ameropa 社も 6000 トン DAP を輸出した。また、メキシコ側は引き続き FOB610～613 ドル/トンの DAP を探している。

＊ アルゼンチンも DAP の輸入を盛んで、Indagro 社が CFR645 ドル/トンで 2 万トン、Bunge 社は CFR635 ドル/トンで 1.5 万トンを輸出した。また、Key Trading 社は CFR649 ドル/トンで 4 月に輸出予定。

＊ ロシア Eurochem 社は FOB585 ドル/トンで 3 万トン MAP をアルゼンチン/ブラジルに、FOB588 ドル/トンで 2.5 万トン MAP をブラジルに輸出した。

＊ NF　Trading 社は CFR385 ドル/トンでイタリアに 1 万トン尿素を輸出。

＊ コロンビア Monomeros 社は 2 月 23 日に 2.3 万トン尿素の入札を行った。

＊ メキシコ Isaosa は 2.5 万トン尿素の入札を行った。応札価格は CFR426～428 ドル/トン、3 月の船。

＊ ロシア IPC はバングラデシュに CFR460 ドル/トンで 2.5 万トン塩化加里を輸出。ヨルダン APC は CFR460 ドル/トンで 2000～3000 トン塩化加里を東南アジアに輸出。

肥料プラント新規建設

＊ ロシア石油企業大手 Sibur は 2011 年が 2010 年より 2 倍以上の資金を化学肥料事業に投じ、配下にある Azot JSC 工場、Minudobreniya JSC 工場、Angarsk Azotno-Tukovy Zavod LLC 工場設備の改造と新設を行い、アンモニア生産量を 160 万トン、窒素肥料生産量を 270 万トンに引上げる。Sibur 社は 2010 年に 158 万トンアンモニア、255 万トン窒素肥料を生産した。

＊ トルコの Tekfen 社はモロッコ OCP の入札に落札したため、モロッコにりん化学製品工場（りん酸肥料工場も含む）を建設する計画を公表した。計画によれば、2012 年 6 月までに生産能力 85 万トン/年の DAP 生産設備 2 セットを建設し、2013 年 4 月までに 240ｋｍのりん鉱石を輸送する道路を完成する。総投資額は 6.2 億ドル。

その他

＊　アメリカ Passport 社はアリゾナ州の加里鉱山調査を再開した。アリゾナ州ホルブルク盆地には 600 平方マイル（約 1550 平方キロメートル）の加里鉱脈があり、20 世紀 60 年代と 70 年代に Duvall 社と Arkla 社が調査を行ったが、加里肥料の価格が低いため、開発を諦めた経緯がある。今度は Passport 社が Karlsson 社と組んで、ホルブルク盆地に 10～15 の調査井戸を掘り、加里鉱脈の範囲と含有量を調査する予定。

＊　カザフスタンからの報道によれば、オーストラリアの FT 工業が香港吉安資源有限公司の 75%株を買収することにより、カザフスタンの 2 ヶ所加里鉱山を手に入れた。買収金額は 100 万ドル現金と 4000 万ドルの自社株。吉安資源有限公司は子会社の Bates Potash. Co. Limited を通して、カザフスタン西部にある 2 ヶ所の加里鉱山を有する。

＊　2010 年末現在、中国の尿素メーカーは約 180 社である。その中、生産能力が 100 万トン/年以上の大型メーカーが 17 社、生産能力 4400 万トン/年を超える。前 5 位のメーカーは晋煤グループ、陽煤グループ、中化化学肥料グループ、湖北宜化、中海化学で、その生産能力が 2000 万トンを超え、全国生産能力の 30%を占める。中国政府は大手の買収・合併を奨励し、2015 年に上記の 5 大メーカーの生産シェアを 40～45%に達する見通しである。

＊　中国税関統計によれば、2010 年第 4 四半期に化学肥料輸出量は 571.5 万トン（前年同期より 96.9%増）、金額 19.9 億ドル（前年同期より 150%増）。

その内訳は、尿素 333.5 万トン、金額 10.5 億ドル、平均輸出価格 FOB315 ドル/トン。山東省からの輸出量 154.7 万トン、内モンゴルからの輸出量 37.3 万トン、この 2 省から全輸出量の 57.5%を占める。主な輸出先はインド（150.1 万トン）、バングラデシュ（57.8 万トン）、アメリカ（43 万トン）、ベトナム（27.2 万トン）。

DAP120 万トン、金額 5.8 億ドル、平均輸出価格 FOB482 ドル/トン。雲南省からの輸出量 44.7 万トン、貴州省からの輸出量 27.8 万トン、この 2 省から全輸出量の 60.4%を占める。主な輸出先はインド（38.5 万トン）、ベトナム（25.2 万トン）。

これに伴い、2010 年の化学肥料輸出量が 1510 万トン（前年より 74.8%増）、金額 50.7 億ドル（前年より 100%増）。なお、2010 年化学肥料輸入量が 702 万トン（前年より 77.5%増）、金額 25.6 億ドル（前年より 29.9%増）。

＊　ロシア加里メーカーUralkali と Silvinit の合併について、Silvinit の 6%株式を持つ Acron 社は反対意思を表明し、ロシアの地方裁判所は判決を出るまで合併中止の仮決定を出した。但し、他の株主は合併を支持するため、Acron 社の敗訴が濃厚。